

1) システムの名称 :

DOCTOR' S DESK II (ドクターズデスクツー)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

2. 所見記述系 (無床・有床診療所向け電子カルテシステム)、1. オーダエントリ系

3) 特色 :

- ・カルテ2号用紙をイメージした親しみやすい画面構成。
- ・ワンタッチパネル入力方式によるスピーディーなカルテ入力を実現。
- ・処方薬剤及び他院処方薬、OTC薬等との相互作用を自動チェックする薬剤処方チェック機能を標準搭載。
- ・各種グラフ化機能に加え、投薬歴と検査歴を統合表示するナビゲーション機能。
- ・検査のオーダーと結果取り込みがオンラインで可能。(指定検査センターのみ)
- ・日医標準レセプトソフト(ORCA)対応の先駆けとして、導入実績多数。
- ・各種外部システムとの豊富な連携実績(PACS、検査システム、診療予約など)
- ・主治医意見書、紹介状、生活習慣病療養計画書などの文書作成機能が充実。
- ・2011年にワイド／マルチモニタ完全対応の後継システム販売開始予定

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

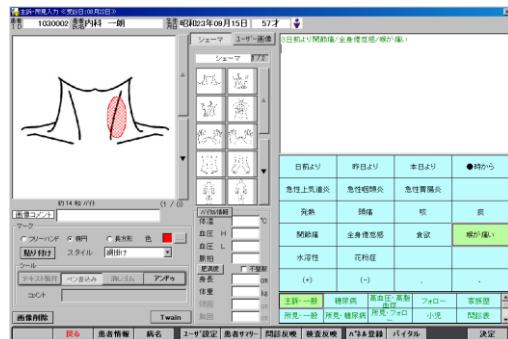
1. システムイメージ図

【主要画面】



【受付画面】

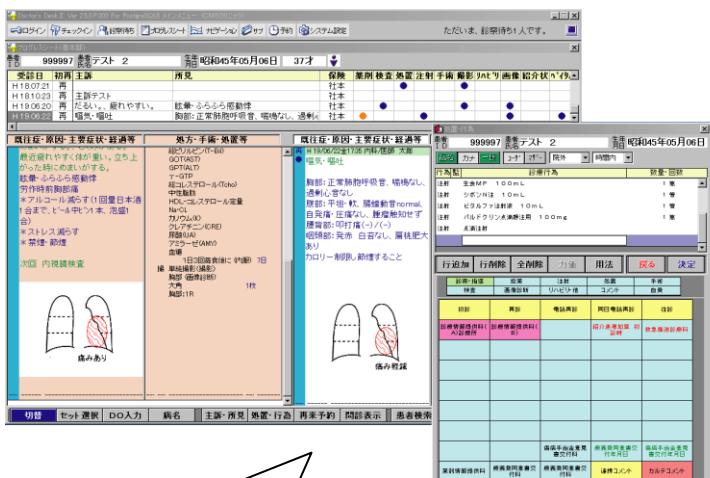
本日来院された患者様を一覧表示。



【主訴所見入力画面】

パネル (ユーザ ID 毎) を使って簡単

入力。直接入力、シェーマ記載も可。



【プログレスシート (カルテ) 画面】

2号用紙イメージ。画面左に過去の
カルテを表示。右に作成中のカルテ。



【処置行為入力画面】

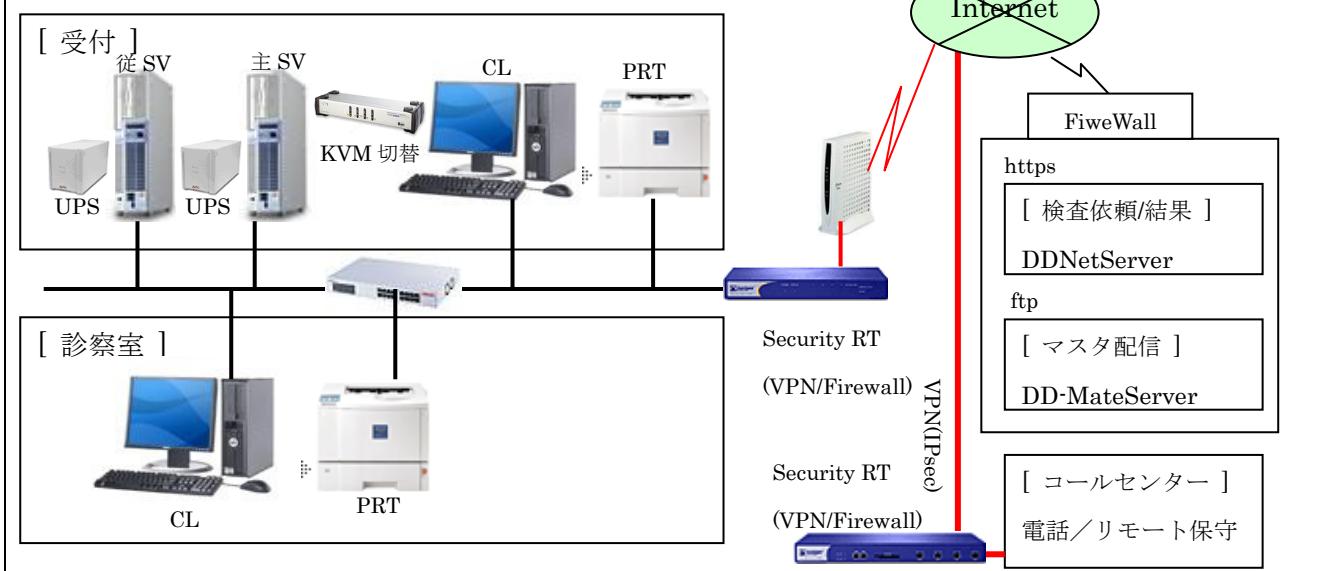
パネル (ユーザ ID 毎) で簡単入力。

セット化、文字検索での直接入力可。

リアルタイムでの処方監査機能。

過去カルテを参照しながら入力が可能

2. システム構成図（最小構成）



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

- ・マスター／コード体系
 - >厚生労働省策定レセプト電算処理マスター／コード（標準）、日本臨床病理学会 臨床検査項目分類コード（JLAC10）
(財)日本医薬情報センター 医薬品マスター及び添付文書PDFファイル（標準）、
データインデックス（株） 薬剤情報／処方監査辞書データ（標準）
- ・データ交換規約
 - >JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver2.0(HL7 2.3.1 準拠)、MedXML Consortium CLAIM Ver1.0 準拠
>HL7J-CDA 電子紹介状及び患者情報提供規格 Ver1.0／厚生労働省 電子的診療情報交換推進事業規格

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）:

システム形態	: クライアント／サーバ方式
ハードウェア	: AT互換機(DOS/V機)
推奨構成	: 下記参照
CPU	[サーバ] Core2Duo (2.8GHz相当以上) [クライアント] Core2Duo (2.8GHz相当以上)
メモリ	2GB以上 2GB以上
HD	160GB×2 160GB以上
OS	MS WindowsServer2003(Win PostgreSQL版) Microsoft Windows XP Professional MS WindowsServer2008R2(Win PostgreSQL版) Microsoft Windows 7 Professional Ubuntu 8.04 (Linux PostgreSQL版)

7) 稼動までに必要な作業・期間 :

2～3ヶ月間程度（導入打ち合わせ／受注決定後）

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）:

約3,000,000円～4,500,000円（税別）
内訳）電子カルテ及びレセコンのソフトウェア／ハードウェア込み。最小構成。基本導入諸費用含む。

9) 保守の内容と費用 :

通常保守：月額30,000円（税別）～ 保守内容：リモート保守、マスター更新、法令改定、通常のバージョンアップ

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail等）および開発元（もし別途あれば）:

株式会社シィ・エム・エス
〒164-0012 東京都杉並区高円寺北1-17-5 上野ビル4F
TEL) 03-5345-7222 FAX) 03-5345-7223
担当者：駒田 英久（こまだ ひでひさ）
ホームページ) <http://www.cmsnet.ne.jp> 電子メール) cms@cmsnet.ne.jp